

10/10

10/10 10/10 10/10

10/10 10/10 10/10

10/10



イラク復興支援群活動報告

18.6.28

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 (1997年6月28日)

◎ サマーフ主力

- 人員・武器・装具異状なし
- 警備態勢： [REDACTED]
- 人道復興支援関連

◆ 医療

- 看護学校教師に対する看護技術教育
別紙第1「看護学校教師に対する看護技術教育」
- 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

- ・ 学校の改修：
 - 2カ所(サマーフ、ルメイサ)での役務作業
- ・ 道路の改修：
 - 新アッサダールカ道(その2)新規施工開始(サマーフ)(座標：NV273647~NV286645)
 - 4カ所(サマーフ×4)での役務作業
- ・ PHCの改修：
 - 2カ所(サマーフ×2)での役務作業
- ・ 給水関連施設の改修：
 - 7カ所(サマーフ×2、ヒドル、ワルカ×2、ルメイサ、ルメイサーサマーフ間)での役務作業
- ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 2カ所(サマーフ、ヒドル)での役務作業

全 (1997年6月28日)

○ 撤収業務関連

- ・ 後送物品のコンテナ詰め(作成1個/計画6個)
別紙1「撤収作業」

○ 宿营地関連施設の整備

- ・ 宿营地散水
- ・ ゴミ回収
- ・ 屎尿汲み取り
- ・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス
- ・ Tレックス
- ・ 環境維持作業
- ・ コンテナスキャナー点検・整備
- ・ 燃料給油
- ・ 有線・電話機撤収

○ 6月28日現在の雇用人員

計459名(累計：481,418名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

- ・ サマーフ市大型発電所事業推進式を実施
別紙2「サマーフ市大型発電所事業推進式」
- ・ 群長及び業支隊長が、外務省とのテレビ会議を実施
- ・ 業支隊長が、イラク陸軍第2旅団長([REDACTED])と会談(宿营地)
別紙第2「業支隊長、イラク陸軍第2旅団長([REDACTED])と会談」
- ・ 業支隊長が、ルメイサ市評議会議長と会談(宿营地)
別紙第3「業支隊長、ルメイサ市評議会議長と会談」
- ・ 供与RO浄水機により給水車延べ26両に対し約376t(約83,556人分)が配水された。
6月28日まで計約80,536t(約17,896,888人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

④ 復興支援活動 (6月27日)

- ◎ クウェート(クウェート分遣班、後送業務隊)
 - ・ 後送業務隊長対応
 - ・ 後送業務隊に対する慣熟訓練支援(射撃偵察、操縦訓練)
 - ・ 大使館連絡調整会議
 - ・ コンテナ積載・点検
 - ・ コンボイ準備
 - ・ 本邦後送品後送準備
 - ・ 10次群患者対応
 - ・ 後送業務隊長表敬支援
 - ・ 撤収関連業務
 - － 指揮所及び通信等の整備
 - － 慣熟訓練
 - － クウェート大使、キャンプバージニア司令官、空自司令表敬(隊長等)
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 連絡調整及び情報収集
- ◎ バスラLO
 - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
 - ・ 定例会議出席
 - ・ 航空輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・ 情報要求対応等
 - ・ 各種業務調整等
 - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・ 連絡調整及び情報収集

⑤ 復興支援活動 (6月28日)

項目	進捗状況		評価	備考
復興支援活動の整理	0%		現在進行中	新アッサダーカ道(その2)新規施工開始 17件実施中
宿営地の整理	IAの地権者対策・県知事対処について確認		現在進行中	
物品の不要決定処置	0%		順調	初送完了 不要決定上申中
コンテナ詰め	49%	29,132/60,122	順調	
コンテナ輸送	25%	84/337	順調	
人員輸送	0%			

給水関連業務実績(6月28日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>1個コンテナ作成</p> <p>●需品物品：1個(給水関連消耗品1個セット)</p>
輸送	<p>特になし</p>

給水関連業務実績(6月28日)

区分	計画		実績 (d)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	31,230	29,132 【1】	49%	93%	30,990	
後送	コンテナ	337	84 【0】	25%	100%	253	
	車両	203	35 【0】	17%	100%	168	

【 】内は、6月28日分の実績を示す。

（昭和41年6月28日）

別表

区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿當地外役務	医療	28	277	459
	学校修復	74		
	道路補修	61		
	青年・スポーツ・女性	2		
	給水関連	112		
宿當地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
	コンテナメンテナンス	5		

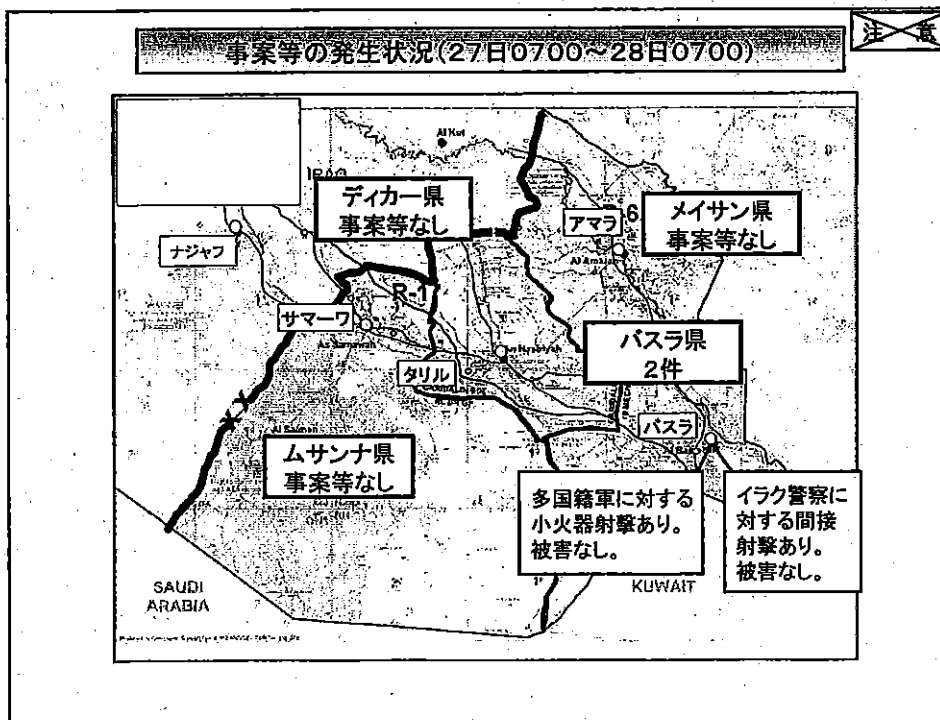
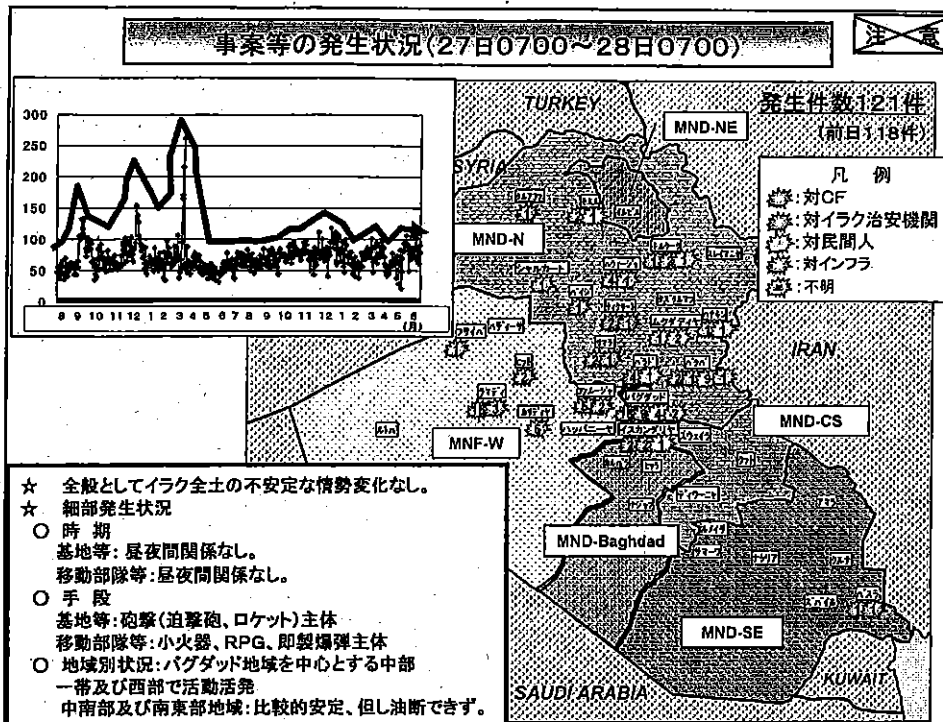
上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

区分	サマー			クウェート			パグダット			バスラ			新ウジ・スライ			ナブル			国外			国内			備考 増減の内容及び 増減人員の变化		
	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員	所定人員	定員	増減人員			
10次業務科	481	481	0	474	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481	0	0	0	0	
10次警務課選定	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
業務支援課 5次要員	109	74	0	75	25	5	0	5	4	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	111	0	0	0	0	(SW) (KW)
放送課課員	105	10	0	95	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	
合計	705	575	0	571	2	125	5	5	4	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	707	0	0	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用回数:0名、FOMA使用回数: 18名 163分(10次群TV電話合計:0名、FOMA合計:1108名)

163分?



イラク全土の全般情勢評価(6:27)			注意
			(6月23日以降変更なし)
区分	内容	備考	
全般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治プロセス、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続	6/23修正	
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンザル・スナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正	
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正	
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正	

イラク南東部の全般情勢評価(6:27)			注意
			(6月23日以降変更なし)
区分	内容	備考	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 ・ 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 ・ 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・ シア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性 	・6/23修正 ・6/23修正 ・6/23修正	
スンニ過激派 国際テロリスト	・1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 ・ 2 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性 	・6/23修正 ・1/14追加	
MSR/ASR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 ・ 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性 	6/23修正	
タリルAB	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 ・ 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性 	6/23修正	

ムサンナ県の全般情勢評価(6.27)-1		
(6月23日以降変更なし)		
区 分	内 容	備 考
全 般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化する可能性 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 IEDを用いた攻撃が比較的軽易に行われる可能性 この際、EFP等の高度な技術を要するIEDに加えて、比較的短時間に設置できるIEDや旧式のIEDが使用される可能性	6/23修正 6/8修正 6/27修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低いが、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 治安機関によって当面のデモの発生は効果的に抑止されているが、燃料、電力、雇用状況の根本的な改善は図られておらず、また、治安機関が現在の高いオープンポを長期間継続することは困難であると見積もられるため、今後もデモや暴動が発生する可能性は継続	6/15修正

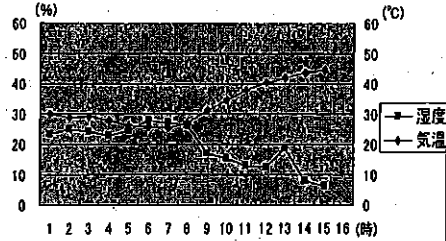
ムサンナ県の全般情勢評価(6.27)-2		
(6月23日以降変更なし)		
区 分	内 容	備 考
サドル派	1 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性 (サドル派民兵は英豪軍撤収後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性) 2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーフサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性 3 サドル派民兵過激派等により、宿营地外活動を実施中の部隊に対する臨機の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃及び宿营地に対する間接射撃等による攻撃が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーフ市中心部及びCooperative Zone (イエローゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	6/23修正 6/4修正 6/23修正

現地の気象情報

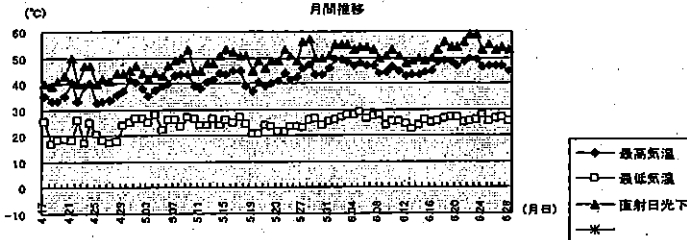
報告内容

明日の日の出 : 0557(サマータイム)
 明日の日の入 : 2008
 明日の月齢 : 3.6
 明日の月出没 : (出29日0912~没29日2302)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高44.7℃最低25.5℃
 : 最高53℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 19.5%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



加賀川電線工事(6月29日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>4個コンテナ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通電物品 : 2個(整備用部品) ● 弾薬 : 2個
輸送	<p>物品後送</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車両 : 30両 (LAV、セミトレ、大・中・小型、グレーダ、水トレーラ等)

10年6月20日(水)の日報

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所等)	車両
J1	隊長の行動	0545 0700	J2行動証明について(解決)	
		0740 0750	就寝長報告	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0830 1080	宿営地内動務	
		1080 1200	撤収計画図説の統一(旧作戦室)	
		1200 1430	宿営地内動務	
		1430 1445	I B J任務経路等について(御指)	
		1445 1500	活動命令(撤)について(解決)	
		1500 1600	CIMIC会議	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	30日行動証明について(御指)	

10年6月20日(水)の日報

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所等)	車両	
J2	業務支援隊長の行動	0740 0750	演習状況与式		
		0750 0800	群朝礼		
		別示	宿営地 陸		
			キャンプ・スミッタイ 庫	キャンプ・スミッタイ訪問	
			キャンプ・スミッタイ 陸		LAV(C)×3 LAV(GJ)×1 HWV0×1
			県評議会議事堂 庫	PDCC会議参加	
		県評議会議事堂 陸			
		宿営地 著			
		1350 1500	宿営地内動務		
		1500 1600	CIMIC会議		
1605 1635	作戦会議				
1635 1655	球ミーティング				
1830 2000	外務省との定期ミーティング				

1998年6月20日(金)の日誌

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所等]	車両
J201	GRF (A)			
J202	GRF (B)			
S6☆	後援要員配置	29日 1130～ 1930～ 30日 0530～	宿営地～運河要員配置～宿営地	
S8	外傷初期診療指導者養成コース (出張)	1000 1300	サマーフ総合病院医師等に対する外傷初期診療の技術指導	Amo (Med) × 1
S11☆	警 衛		警 衛	
S12☆	浄水活動 (運 河)	0730～1000	大量送水システム点検・給動	LAV(HS) × 1 LAV(G) × 1

1998年6月20日(金)の日誌

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所等]	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0830～1600	宿営地放水	
S13b		0830～1600	ゴミ回収	
S13c		0830～1600	尿尿汲み取り	
S13d		0900～1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0900～1600	Tレックス	
S13f		0900～	コンボイ作業	
S13g		0830～1600	環境維持作業	特大型(E) × 1
S15	群主力の行動	0600 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿営地内活動	
		(0700～1600)	群検閲 (コンテナ作成、輸送等)	
S16	空中監視活動	29日0830 ～ 30日0830	空中監視活動	

18年6月29日(金) 01時35分

クウェート分遣班、後送業務隊	バックアップLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> 後送業務隊長対応 後送業務隊に対する情報収集支援(射撃訓練・検閲訓練) 後送業務隊に対する弾薬回収支援 ナビスタ国境通過支援 撤収関連業務 指揮所及び通信等の整備 情報訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 定例情報収集 定例会議出席 航空輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 各種業務調整 各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集

18 6 28
イラク復興支援群

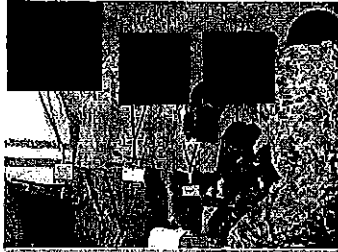
18年6月28日(木) 01時35分

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
- 本日のサマーワ大型発電所事業推進式は、事前の調整等に基づきしっかりやっていた。

18年6月28日(木) 01時35分

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
- サマーワ大型発電所事業推進式は、県知事も出席され、報道効果も良く、成功裡に終わった。関係者は御苦労さん。
- (安全管理について) 宿营地外活動時における安全管理については、本邦でしっかり訓練を実施し、ここで経験を積み、高い練度にあると思う。一方、その他考えられる主要な事故として、車両事故、武器・弾薬に起因する事故及び撤収や恒常業務における事故が想定されが、我々が絶対に起こしてはならない事故は、武器・弾薬に起因する事故である。危険見積の実施、安全係の指定、安全確認、現場での指導・監督等、国内における安全管理と全く同じであるので、もう一度やるべき事を徹底し、安全管理に万全を期せ。

看護学校教師に対する看護技術教育

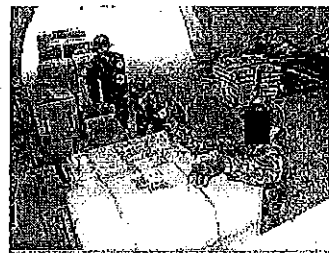


ODA供与器材の取扱教育の展示

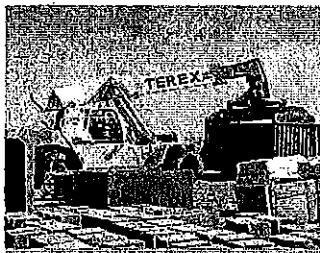


新生児死亡改善の要因の一つである母乳導入の普及

撤収作業



トラックに天幕内の作業の様子



トラックでコンテナを運ぶ様子

サマーワ市大型発電所事業推進式



ハンサニー知事と握手を交わす群長



スピーチを行う群長

業支隊長、イラク陸軍第2旅団長()と会談



と業支隊長



懇談の様子

業支隊長 ルメイサ市評議会議長と会談



ルメイサ評議会議長と業支隊長



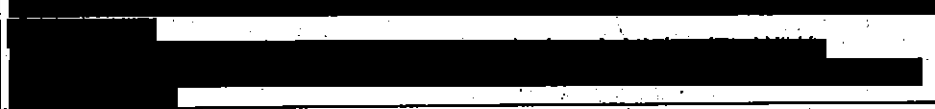
会談の様子

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED] バグダッド及びモスルは [REDACTED] ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	

6月28日JAM情報最新版(仮訳)



評価:



JAM Update: 28 June



Assessment:



JAMの反応(仮訳)

[Redacted]

評価:

[Redacted]

OUTLOOK: JAM

[Redacted]

Assessment:

[Redacted]

バグダッド日誌(6月28日)

○不覚！！

キャンプ・ビクトリーに所在する各国の先任連絡官はコアリション・オペレーション・オフィスに机を与えられ、基本的にはそこで勤務しており、各国間の連絡が円滑に調整できるようになっている。オフィスでは連絡官1人に2台のコンピュータが与えられ、2種類の米軍コンピューター・ネットワークが使用できるようになっている。電子メール機能も充実しており米軍ネットワーク内で面白い写真を見つけるとお互いに送信しあったりして楽しんでいた。先日はアルメニア大佐が居眠りしているところをデジタル・カメラで撮られてしまい、それを仲間うちにメール送信され苦笑していた。

連絡官の交代により、私もコアリション・オフィス内ではウクライナに次いで2番目の古株となった。各国の新しく到着した連絡官の相談にのってあげたりして、先輩面して存在感を示している。

ここ2日ほど忙しくほぼ徹夜であった。移動のためのヘリ調整を米軍担当者としている時はよかったのだが、椅子に座るとすぐさま睡魔に襲われていた。

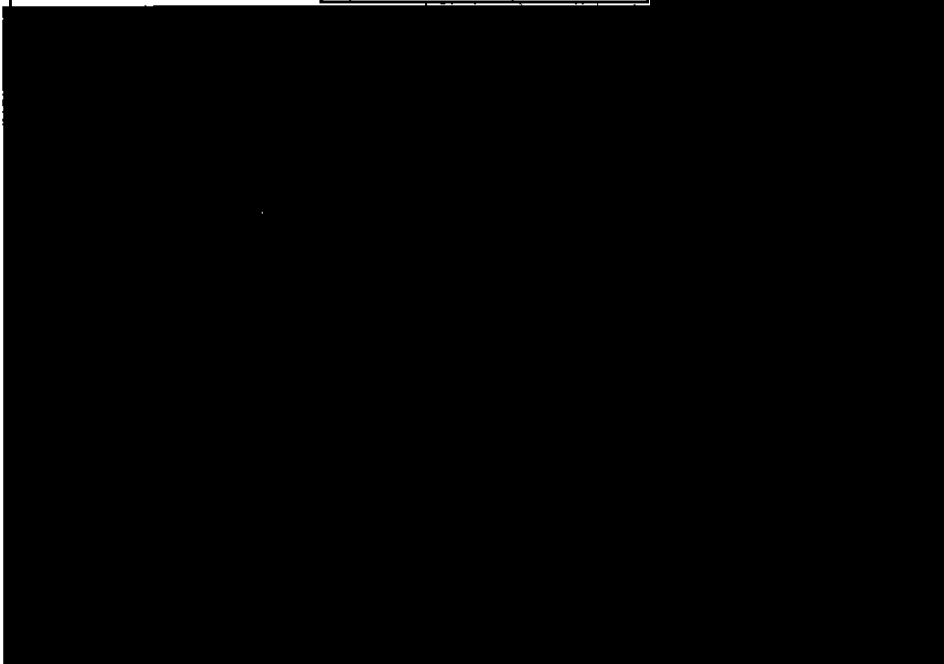
午後になってメールを確認すると「Yellow Card!」のメッセージがホスニア・ヘルツェゴビナLOから送られている。メールを開いてみると私が「居眠り」しているショットが貼付されている。「しまった!」と思ったが後の祭りである。メールを開いた私を見て、部屋の間隔がさも「満足」そうに「ハイ・タッチ」したりして、私を冷やかしてくる。

コアリションに無様にも「笑いネタ」を提供してしまった。全くの不覚であり、海より深く反省している。



バスラLO日々業務報告(6月28日1900)

区分	内容
1 警戒態勢	バスラ空港 [redacted] [redacted] (警戒態勢) : [redacted]
2 特記事項	(1) [redacted] (2) [redacted]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [redacted] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	



バスラ日誌 (6月28日) -155号-

- 1 本日 [redacted] (愛称CS) が任期満了につき帰国の途に着いた。本国に帰ってから(ドイツ駐屯師団であるのでドイツに帰るそうだが。)休暇を取った後、少佐に昇任し第7旅団の幕僚として勤務するとのことである。2人の男の子の父親で、机上には常にその子達の写真が飾ってあった。ハンサムでとても若く見えるのだが、勤続24年のベテランで、16歳で入隊したと聞いていた。陸自で言えば少年工科大学のようなシステムがあるのだろう。居住区コンテナが近く、我々がバスラに来たときから、どこで会っても、元気に親しみを込めて挨拶してくれる方であった。着任当初、周りには外国の軍人ばかりで(当たり前だが。)顔見知りの人がいるわけでもなく、とにかく挨拶から始めようと思って、すれ違う全ての人に挨拶し、そのほとんどの人から無視されていたときに、彼の存在がどれほど勇気を与えてくれたことか。2人のお子さんに鶴を折ってくれと頼まれた時、彼の子供達が怪我などせず、すくすくと幸せに成長することを祈って心を込めて折った。今日、後任者を連れて挨拶をしに来てくれた時、あの鶴には神様がいて、あなたの子供達を守ってくれるようお願いしてあると説明した。とても喜んでくれて、鶴はもう家に届いており、下の子が壊さないように棚の上に飾ってあると教えてくれた。また、長い期間を共に過ごした友人が去っていった。J3では、我々より古いのはあと2人である。今でも、来た時の気持ちのまま、すれ違う全ての人に挨拶しているが、殆どの方から挨拶を返していただき、無視する人は、ほぼいなくなった。
- 2 朝礼時の群長訓辞を読んだ。「任務完遂のため、前向きに胸を張って最後まで全力を尽くす。」という気持ちに迷いはない。炎天下の撤収作業は、困難を極めると思うが、安全に留意されて準備を進めて頂きたい。遠くバスラより、本隊の安全に寄与する情報収集、本隊の撤収計画が少しでもスムーズに進むようにするための調整、及び本隊が、少しでも安全に離脱できるようにするための調整に全力を尽くし、群長の企図に応えたいと思う。『バスラにて陰で支えし復興支援、終わり良ければすべて良し』幹部学校戦略教官室長 [redacted] から頂いた歌である。
- 3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。 [redacted] [redacted] [redacted]



スマッティLO日々業務報告(6月28日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし: [REDACTED] Threat Level [REDACTED]
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 R8沿いの不審物関連情報、サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 JIRSG撤収時の物品輸送関連、J1・J21関連(時間変更)、業支隊長・政策アドバイザー等 キャンブスマッティ訪問関連、明日以降の豪軍支援要請関連、PDCC関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし

クウェート分遣班業務報告		18. 6. 28
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等: [REDACTED] <input type="checkbox"/> 人員・武器等: 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 0700 37℃(41℃) 1100 45℃(55℃) ()は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 後送業務隊長対応 <input type="checkbox"/> 後送業務隊に対する慣熟訓練支援(射撃訓練・操縦訓練) <input type="checkbox"/> コンテナ積載・点検 <input type="checkbox"/> コンボイ準備	<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> 大使館連絡調整会議 <input type="checkbox"/> 10次群患者対応	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 後送業務隊に対する慣熟訓練支援(射撃訓練・操縦訓練) <input type="checkbox"/> 後送業務隊に対する弾薬回収支援 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備		
その他		
なし		

クウェートLO日々業務報告(6月28日1900)

区分	内 容	
警戒感等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報):クウェート全土「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 (1) 視察者対応(後送業務隊長、大使表敬) (2) 情報要求対応 (3) 大使館連絡調整会議 2 情報収集 情報資料 3件	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 2 情報収集	
その他	なし	